

提 言 書

富田林市「多文化共生推進指針」策定にかかる

現状と今後の方向性

2008 年（平成 20 年）12 月

富田林市多文化共生指針検討委員会

第13条

どこにでも住める



第13条

どこにでも住める

わたしたちはみな、いまいる国のどこへ
でも行けるし、どこにでも住めます。別
の国にも行けるし、また自分の国にもど
ることも自由にできます。

「世界人権宣言」(2008年4月発行 世界人権宣言大阪連絡会議)より抜粋

【イラストレーション 黒田征太郎 ©Seitaro Kuroda】

【宣言日本語訳 社団法人アムネスティ・インターナショナル日本/谷川俊太郎】

第2条 差別はいやだ

わたしたちはみな、意見の違いや、生まれ、男、女、宗教、人種、ことば、皮膚の色の違いによって差別されるべき
ではありません。また、どんな国に生きていようと、その権利にかわりはありません。

第1条 みんな仲間だ

わたしたちはみな、生まれながらにして自由です。ひとりひとりがかけがえのない人間であり、その値打ちも同じです。
だからたがいによく考え、助けあわねばなりません。

はじめに

近年、外国人市民の増加に伴い、総務省「多文化共生の推進に関する研究会」をはじめ、政府省庁や経済団体が主宰する研究会等から多文化共生にかかる調査の結果や提言等が相次いで発表されています。

富田林市においても、現在は約 1,000 人の外国籍市民（これはこの 20 年間で外国籍市民が約 8 割増加したことを意味する）と、多数の外国にルーツをもつ市民が居住しておられ、また、そうした市民の多国籍化・永住化が進む中で、さまざまな課題に対応していくために、本年 7 月に「多文化共生指針検討委員会」が設置されました。

本委員会では、まず、富田林市において市や市民公益活動団体によって実施されてきた、多文化共生にかかる諸事業を学ぶことから検討を開始し、同時に、他市町村の多文化共生の取組に学びながら、委員会の会議を重ねてまいりました。そして、本年 12 月に提言書の作成を完了しました。

この提言書の特徴の一つは、外国人市民の集住地域ではないものの、朝鮮半島や台湾など旧植民地出身者やその家族の割合が多いこと、最近のグローバル化によって新しく移住してきた外国人市民が増えてきたこと、市と市民公益活動団体の連携・協働による事業展開が活発であることなど、この 12 万人都市の地域特性を反映した内容を心がけている点にあります。

また、この提言書は、「人権の実現を理念とした市民参加」を中心とする『第 4 次富田林市総合計画』の具体化として指針を位置づけることなど、指針の基本的な性質や目標を確認していることも、その特徴となっています。

提言書作成にあたっては、田村太郎氏（多文化共生センター大阪 代表理事）に国や他自治体の多文化共生施策の動向や課題について、金光敏氏（コリア NGO センター 事務局長）に在日コリアンが行ってきた運動から見た多文化共生ニーズについてご講演をいただきました。また、視察に訪れた滋賀県近江八幡市では、多文化共生保育の実践を見せていただいたり、本委員会同様、指針への提言を作成されている多文化共生推進懇話会を訪問したりし、意見交換をさせていただきました。そのほか、多くの方にご協力をいただき、委員を代表して、ここに心からお礼を申し上げます。

富田林は古来より渡来人が数多く住む国際交流都市であります。現代の富田林市が、その歴史を受け継ぎ、さらに多文化共生都市として魅力ある発展を遂げるために策定される指針において、この提言書が行った分析と提示した考え方が一定の貢献をなすよう願っています。

多文化共生指針検討委員会
委員長 岡島 克樹

目 次

第 1 章 多文化共生指針検討委員会設置の背景と目的

1－1.	多文化共生指針検討委員会設置の背景と目的	1
1－2.	用語の定義	3

第 2 章 富田林市における多文化共生にかかる現状と課題

2－1.	外国人市民の現状	5
2－2.	現在行われている事業の内容と成果・課題	7
	＜1. コミュニケーション支援＞	7
	＜2. 生活支援＞	10
	＜3. 多文化共生の地域づくり＞	15
	＜4. 地域における多文化共生推進体制の整備＞	17
	＜5. 国際交流・国際協力＞	19

第 3 章 富田林市における多文化共生指針のあるべき方向性

3－1.	基本的な考え方	21
3－2.	指針策定において検討されるべき具体的事業項目	23
	＜1. コミュニケーション支援＞	23
	＜2. 生活支援＞	23
	＜3. 多文化共生の地域づくり＞	26
	＜4. 地域における多文化共生推進体制の整備＞	26
	＜5. 国際交流・国際協力＞	27
3－3.	評価	28

参考資料

資料 1.	富田林多文化共生指針検討委員会設置要綱	I
資料 2.	富田林市多文化共生指針検討委員会委員名簿	Ⅲ
資料 3.	富田林市多文化共生指針検討委員会審議経過	Ⅳ
資料 4.	参考文献リスト	